

市民の笑顔をおとどけします

6/23

矢島成剛さんに土岐市功労章



1. 市長から表彰状を受け取る矢島さん
2. 市長、議長と一緒に記念撮影

市議会議員、県議会議員などを歴任し、市政の発展に多大な貢献をされた矢島成剛さんが土岐市功労章を授与されました。

矢島さんは式典で議員時代に駅前の道路整備などに力を入れたことなどを振り返りながらあいさつ。「市民の皆さん、関係者の皆さんのおかげで今日の表彰をいただけました」と感謝の言葉を締めくくりました。

6/15

小中学校で通常授業、給食も再開



1. 食器の接触機会を少なくした配膳に取り組む児童
2. しゃべらずに食べることを徹底している様子

午前・午後に分かれての登校が終わり、この日から小中学校では通常授業と給食が再開。さまざまな感染症対策がとられる中、給食でもメニューや配膳方法、しゃべらずに食べることなど徹底した対策がとられています。

写真は、土岐津小学校6年生の教室での配膳と食事の様子。これまでは教室の中に食缶を置いて当番の児童が取り分けていましたが、座っている児童から少しでも離すため、教室外に食缶を設置しました。当番の児童は、手指で直接皿を触ることがないように、手袋を着用。配膳するときも自分の食器を他の人が触れることがないように配膳方法を変えていました。こうした配膳作業の負担を軽減するため、副菜をカップサラダにしたり、デザートや汁物をなるべく減らしたりするなど給食センターもメニューを工夫。児童らが黙々と給食を食べている様子が印象的でした。

6/21

思いを込めて、堂々と主張



1. 大会に参加した6人の生徒ら
2. 身振り手振りを交えて、主張をする桑原萌夏さん

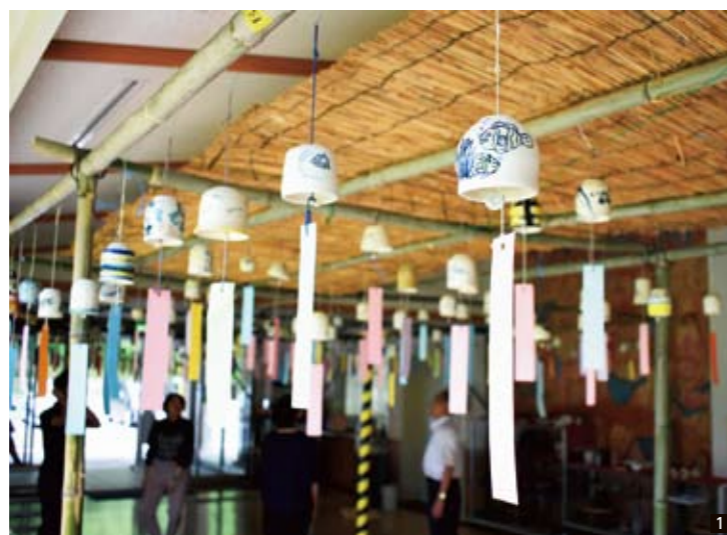
土岐市青少年の主張大会が市文化プラザナホールで開催され、市内中学校の代表生徒6人が自ら決めたテーマについて堂々と主張しました。

毎年恒例の同大会ですが、今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、来賓を招かず、一般参加者の入場も制限。審査員と関係者のみが見守る中での実施となりました。生徒らが主張の題材として選んだテーマは、環境問題や高齢化問題、いじめなどさまざま。自らの経験をもとに、自分で考えたことや勉強したことをまとめ、1人5分間の持ち時間に思いを込めました。

審査の結果、これからの介護の在り方について身振り手振りを交え、見る人に訴えかける主張をした土岐津中学校3年生の桑原萌夏さんが東濃審査会へ進むことが決まりました。

6/26

土岐津公民館に 涼しげな音



1. 約300個が並ぶ風鈴
2. 風鈴に手を伸ばす職員

土岐津公民館で陶製の風鈴約300個が飾られ、訪れる人を涼しげな音で和ませています。

同公民館は、5年前から風鈴を手作りする講座を毎年開催。例年なら100人以上の参加者がろくろを引いたり、絵付けをしたりして自分の陶製風鈴を作成しますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止となりました。しかし、これまでの

の作品のうち約300個を活用して「風鈴まつり」を開催しようと市民ボランティアや公民館の職員らが準備し、6月5日に設置しました。

訪れた人からは、「きれいで爽やかな音だから涼しく感じる」、「ガラスや金属よりも優しくて柔らかくていい」と評判も上々。7月26日まで開催されます。